

2019 年度事業計画

「Change & Challenge」第2章

“Be Precious ! Be Prestigious !” Vol. 1

2019 年 3 月 26 日

学校法人森ノ宮医療学園

I.基本方針

1. 事業方針

(1) 学園全体

- 「“関西圏トップ”の実現」を基本目的とする第2期中期計画の初年度として、12の中核プロジェクトを中心に、目標達成を確実にするための取り組みを確実にスタートさせる。

(2) 森ノ宮医療大学

- 作業療法学科・臨床検査学科の完成、臨床工学科2年度目への対応、診療放射線学科開設準備に万全を期す。
- 「チーム医療」の次フェーズ戦略を進め、森ノ宮医療大学ならではのオリジナリティを確立する。
- 知的社会貢献を加速させる。研究活動の活性化・全学による戦略的研究課題の設置・積極的社会発信により、大学のプレゼンスを高める。
- 地域連携を推進させる。大阪府内地域連携プラットフォームを活用し、地域の高等教育の課題に取り組む。
- 新たな地域貢献事業を実現化する。周辺地域の自治体や企業・団体等と協力し、地域活性化の一助となる。
- 大学入試改革への対応・学科特性にマッチした精度の高い入試体制の構築を図る。

(3) 森ノ宮医療学園専門学校および収益部門

- 収支均衡体制の確立と競争力強化の視点から、定員変更等も含めた抜本的な改革を進める。

(4) 法人本部

- 総合調整およびリスク管理強化の視点から取り組みや仕組みを強化・充実する。

Ⅱ. 主要事業計画

① 診療放射線学科/大学院看護学専攻開設・附属診療所開設準備（大学）

2020年4月に保健医療学部診療放射線学科を新設することで、保健医療学部全体の質の向上とともに、本学大学教育の柱であるチーム医療教育をより充実させ、広く社会に貢献できる医療人の育成を通して保健医療分野の発展へのさらなる寄与を目指す。大学院においては、看護の専門性を鑑み、既設の保健医療学専攻（修士課程）に加え、2020年4月に看護学専攻（修士課程）を新設し、看護領域に特化した高度専門職業人の育成を目指す。また、教育/研究活動の場の提供、学生/教職員の健康管理システムの充実、地域貢献活動として、附属診療所の開設を目指す。

② 新棟建設（大学）

2020年4月の診療放射線学科開設を目指し、2016年に取得した北西校地に新たな校舎(地上5階建)を建設する。「学生の視点に配慮した、学生が集う、自慢できる学び舎」をコンセプトとして、診療放射線学科用の教室・実習室・研究室、看護学科用の教室、及び全学生使用可能なコミュニケーションラウンジ等を機能的に配置し、周辺環境に配慮した外観や2階には250名が収容できるカフェを併設するなど、本学のキャンパス・アメニティの中心になる校舎を目指す。(2018年度着工、2020年1月竣工)

③ 国際交流センターの活用（大学）

海外留学プログラムの多様化を図ると同時に危機管理機能の充実を図る。

また、海外留学を促進するための経済的支援やランゲージスクールの外国人留学生との交流を通じて、国や文化が異なる人々が学び合い、知を創造するグローバルコモンズの実現を目指す。

④ キャリアセンターの設置（大学）

新たにキャリアアップセンターを設置し、大学全体として就職支援を強化するシステムを構築する。連携病院・実習病院との連携強

化も見据えつつ在学生への就職サポートを提供すると同時に、卒業教育センターとも連携し卒業生へのキャリア支援への寄与も目指す。

⑤ 既存校舎の改修など修学環境の改善（大学）

看護学科講義室の新棟への移設、ウエストポート改修工事の実施、グリーンスクエア整備など、修学環境の改善に取り組むことにより、学生推奨度向上を目指す。

⑥ 安定的な収益力の確立（専門学校）

2018 年度に引き続き、ステークホルダーを細分化（高校生、社会人、女性、エリア等）することで、きめ細かなアプローチを行い、本校学生募集イベントに誘導を図る。

また、学生募集グループと広報課が連携を図り、学生募集において重要な位置づけとなっている WEB 関連の事業を強化する。具体的には、動画サイト作成、紙媒体と WEB サイトを連動、WEB サイトのコンテンツ見直し（改訂）、SNS の発信数増などを行っていく。2018 年度は、イベント自体は多くの動員が図れたにも関わらず、出願に結びつけることが出来なかったため、オープンキャンパス等のイベントについては、改善・拡充していく。

併せて、退学者防止対策の取り組み、高校新卒生のための（就職サポートではなく）キャリア教育の取り組み等を強化充実する。

⑦ 日本語学校開設（法人本部）

介護の技能実習生や在留資格に介護が認められ、高齢者施設において外国人労働者がこれから増えようとしている。外国人に対する介護分野の教育は、これから確立していくことになる。本学園では、日本語教育と介護福祉士養成教育を一貫で行い、外国人介護福祉士養成教育システムを構築したい。このシステムによって、優秀な外国人介護福祉士を養成し、施設の利用者、スタッフに貢献したい。

2019 年 4 月に森ノ宮医療学園ランゲージスクールが開学する。留学生の日本語能力の向上、満足度の向上を目指す。

また、今後、大学・専門学校への留学生受け入れの仕組みを構築する。

⑧ 介護福祉士養成学科開設準備（法人本部）

2021年4月、介護福祉士養成校を設立する。養成校設立に向けて、2019年度は、教職員組織の編成、教育課程の作成、校舎建築の準備を行い、大阪府への申請書類を完成させる。

日本語教育と介護福祉士養成教育を一貫で行う外国人介護福祉士養成教育システムの完成を目指す。

Ⅲ.計画の監理

(1) 成果報告における確認

毎年度期初に行っている部署別の「成果報告会」で、前年度の実績を確認しつつ、適宜、事業計画の追加修正を行う。

(2) 4か月ごとの進捗管理

4か月ごとに部署別事業計画の進捗状況を把握するとともに、必要な対応を講じ、理事会に報告する。

(3) 月次資金繰・予算実績管理と連動した中期財務見通しの更新

月次の資金繰報告・予算実績結果を中期財務見通しに反映し、事業の進捗状況と併せて理事会に報告する。

以上